

生活を守る！

※日付は議会提案日、
詳細は都議会議事録にて

●月額4万円家賃補助制度

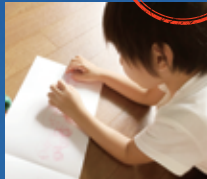
実現

“都営住宅が高倍率なのに増設がない。行き場の無い方が溢れる”と何度も指摘し、新たな補助を求めてきました。そこで来年度より国・都・区あわせて最大月額4万円の家賃補助制度が小規模ながらも開始。 H29.9.26 ※会派質問

●シッター代28万円を補助

実現

“僅かなポイント差で保育園に入れなかったママたちは本当に困っていて、不公平感を解消する政策が急務だ”と訴えました。そこで来年度より初となる月額最大28万円のベビーシッター代補助が開始。 H29.6.2 ※会派質問



●子ども食堂へ直接支援

実現

“6人に1人の子どもが飢えている。子ども食堂が各所に出来つつあるが、お金がない。早急に財政支援を”と訴え続け年間24万の直接支援が開始予定。また捨てられている都の備蓄食糧を全ての食堂へ供出するよう提案し「努力する」との回答。今後は“給食無償化”の実現を目指します。 H30.2.21等多数



●国民健康保険の改革に伴い 激変緩和のための財政支援

実現

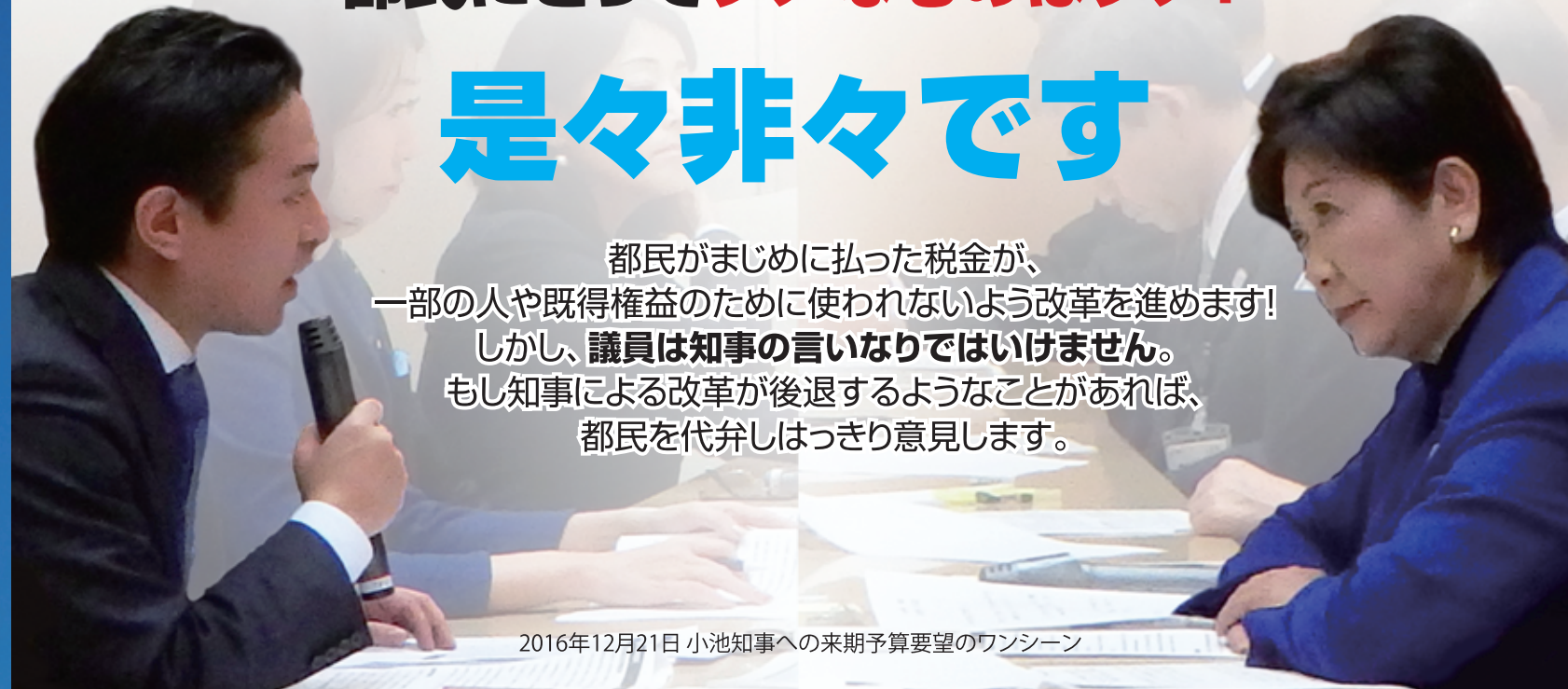
医療費が急激に負担増となる所得層に、それを抑えるための都独自の財政支援を実施。 H29.12.15

「税金で食べている人がラクをして、税金を納める人がバカをみる」 そんな都政を変えていきます！

改革は提言で応援！でも、
都民にとって**ダメなものはダメ！**

是々非々です

都民がまじめに払った税金が、
一部の人や既得権益のために使われないよう改革を進めます！
しかし、議員は知事の言いなりではいけません。
もし知事による改革が後退するようなことがあれば、
都民を代弁しはっきり意見します。



2016年12月21日 小池知事への来期予算要望のワンシーン

目指せ！働く都議 No.1 へ、合計226テーマを提言

226テーマの質疑詳細が都議会Webサイトの議事録で全て確認できます。

命を救う！

年間1.2万人が心停止で救急搬送。救急車だけでは間に合わず生存率は8%。そこで...

●すべての消防団にAED

実現

都内全439分団に来年度から配備が実現
H26.12.18/H29.6.1

●救急車より早く到着 パトカーにAED

実現

来年度から試験運用をすることが決定 H29.6.1/H30.3.5



●24h営業の全コンビニにAED

具体的なリース契約による具体的な財源確保策や手法を提言
→「区と業界とともに環境づくりを進める(知事)」
H29.6.1/H30.3.5

●COPDへの対策が開始！

実現予定

※慢性閉鎖性肺疾患
世界死因3位へ。日本でも530万人以上の患者。しかし治療を受けている人は4%。父も他界。認知も低く区と連携し早急に対策を。
→「今後は区と連携し早期発見・治療に努める」 H30.3.5

命を守る！

●受動喫煙防止の強化を

実現

骨抜きになった国規制を上回る厳しい規制や罰則を設けるべき。まずは都立公園など都の施設から全面禁煙にすべき。

→「4/1から全庁で建物内の全面禁煙を徹底する(知事)」 H29.11.29.



●中核病院が危ない！

板中・高中など災害拠点連携病院が139病院。調査の結果、約半数が停電時には非常用電源が一日と持たない。このままでは死者が千人単位で増加する。早急に対策を。

→「まずは詳細な実態調査を行う」

H29.10.23/H30.3.5



●ザルな水害対策の改善を

実現予定

新たな脅威である大型水害。国の予測では大手町駅等40駅や板橋区も4割が水没と判明。都立高校も59校が浸水。避難訓練の実施率4割、避難場所の事前選定もない。多くの備蓄も1Fにあり水没。それぞれ早急の対策を。

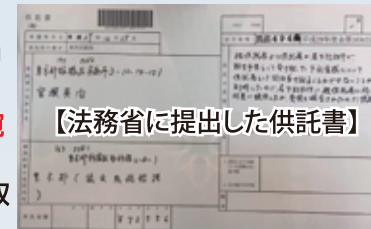
→「各局がそれぞれ新たに対策を行う」 H30.3.5

普通感覚を守る！

●ボーナスの一部を返上

12月に都議の賞与UP条例が可決。都民に税が重くのしかかる中政治家が更なる恩恵を受けてはならぬと法務省に行き、**議会局宛に127人の全都議の中で、ただ一人UP分の賞与を供託し受け取りませんでした。**

また昨年可決した条例案を再び共同提出し、引き続き**給与2割削減**が実現いたしました。 H29.12.15



●団体献金なし、しがらみなし

私は当選以来、一貫して、企業や団体献金を一円も受け取らず、また業界団体の支援も一切受けていません。公用車も乗りません。真にしがらみがありません。普通の家庭で育った、サラリーマン出身の都議として“多くの普通の都民”の立場から提言しています

●天下り役員ポスト2割削減！

実現

都の外郭団体数や役員報酬の見直し、天下りの原則禁止にすべきと当選以来、一貫して主張。都の改革プランにて常勤役員の2割削減が目標に盛り込まれました。 H29.6.1

ふるさと板橋を守る！

●地域

- 大山駅鉄道立体化に伴いハッピーロード商店街のアーケードの一部が取り壊しに！→丁寧な対応と影響調査実施へ
- 高島通り(高島平駅前や高中など横断歩道)の段差解消
- 高島通り(高島平駅前)の横断歩道と接続する区道の傾斜を今後改善へ
- 板橋キャンパス跡地利用で区民の要望を都へ提言
- 城北中央公園の廃プールの取り壊し
- 高島平に誕生した子ども食堂の開設を支援
- その他、信号機や道路標識設置など多数



●駅

- 決定した三田線8両化の早期実施を何度も何度も要望
- 蓮根駅、新高島平駅、春日駅のトイレのグレードアップ化へなお蓮根駅では工期短縮や代替トイレの設置へ
- 蓮根駅の鳩フン落下防止策の強化→剣山を増設
- 東武練馬駅前の踏み切り混雑解消に向けた提言

●災害

- 石神井川・新河岸川の新たな洪水浸水想定区域図を作成へ
- 赤塚公園や城北中央公園への備蓄や設備充実を提言

その他、個人のお困りごとに対応

父の死

都議選直後から父が入院。家族が24時間交代で毎日病院で付き添い看病しました。その経験から介護、病院、COPDなど命の課題を痛感。...父は助かりませんでした。しかし、父の「政治屋になるな。皆のために一生懸命働きなさい」の言葉を胸に“今”生きている人たちの助けになるよう提言しました。